

基本情報

学校

南部町立会見小学校

学校運営協議会

南部中学校区学校運営協議会

令和3年4月1日 設置

委員構成

保護者OB  
 地元企業関係者  
 地域おこし協力隊  
 社会教育委員  
 学校代表  
 有識者

など 10名

会議回数

年間平均4回程度

地域学校協働活動推進員等数

( )は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働推進員 2名 (0名)

地域コーディネーター 1名 (0名)

地域学校協働本部

会見小CS委員会

背景・取組概要

◆平成18年に県下初の学校運営協議会に指定されて以来、地域と学校の協働を推進する様々な活動を行ってきた。その後、令和3年4月に中学校区学校運営協議会が設置され、会見小CS委員会に組織改編されたが、校区のめざす子ども像をもとに、活動を主体とする組織として現在も精力的に活動している。

→ 「地域とともに歩む学校づくり」を支えるために不可欠な組織となっている

工夫・ポイント・特徴的な取組

★4者懇話会

毎年3学期に児童、教職員、保護者、地域の方が一堂に会して直接子どもたちの意見や要望を聞き、意見交換を行う会を開催している。昨年度は5年生全員が参加して「悪いことを見つけたら注意してほしい」「楽しいことを(地域の人と)一緒にしたい」「野球の出来る環境を作ってほしい」などが出た。これを受けて翌年度1学期に児童を除く3者懇話会を開催し、**子どもの声をどう実現するかをテーマに連携した取り組みを熟議している。**

★GTA

祖父母と先生の会。課業日の活動に保護者がなかなか参加できない課題を解決するために組織されたが、**現在は祖父母に限らず地域住民全体を対象を広げている。**メンバーは苗植え、米作り、そろばん、裁縫、調理などの授業支援に多数関わっている。

★宿泊学習

新型コロナ以前は、**子どもの自立をねらいとして数日間の「セカンドスクール」と称する通学合宿を主催していたが、**コロナにより中断。現在は宿泊研修支援として復活し、継続している。



成果・効果

◆教育課程の中に地域との交流場面が計画的に設定され、地域との協働が増えたことにより、**「地域の人と一緒に何かしたい」という子どもや教職員が増加した。**

◆子どもの**コミュニケーションに関する肯定的な回答が90%近くに増えた**ほか、R6年度は「**学校が楽しい**」が94%、「**協力して課題解決**」が100%の肯定的回答であった。

	指標1 考えを伝え合うことが好き (肯定的な回答)	指標2 あいさつをしている (肯定的な回答)
	児童	児童
R3	66%	87%
R6	87%	92%